

みたか環境ひろば 第56号

平成 28 年 7 月 8 日号



「エコミュージカルとエコイベント」を開催しました！

■「エコミュージカルファンタジー “エコ??の国のありす、” ～小学生キャストも出演！～

6月の平均気温を大きく超え、30度を記録した6月26日（日）、三鷹市公会堂「光のホール」にて「エコミュージカル」を公演しました。

内容は、地球の環境をより良く持続していくために一人ひとりができることを考え、実行してもらえるようにと工夫されたもの。6月の環境月間イベントとして「みたか環境活動推進会議」と三鷹市の主催により開催しました。

今年のミュージカルは、市内の小学生を公募し、オーディションで選ばれた小学2年生から6年生の47名がプロのキャストと同じ舞台上に登場しました。応募の際には、「わたしが考えるエコ活動」というテーマでメッセージを作成し、簡単なダンスと歌のオーディションを受けて選出されました。市内を拠点とする劇団「イマジンミュージカルカンパニー」が演技指導・構成・脚本等を担当し、約1か月間、一緒に稽古を行いました。

演目の「エコ??の国のありす」は、1865年に英国で刊行された、筆名ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』をモチーフに、地球環境を悪化させないために何を行えば良いかについて、ミュージカルに仕立て、エコに関するクイズも織り込みながら、主人公「ありす」が「あべこべの国」を「エコの国」へと導いていくという作品です。

元気いっぱい小学生キャストと圧巻の演技を披露するプロキャストにより、大変素晴らしい舞台となりました。

観客の子どもたちも、不要なポスターなどを利用して作った「うちわ」に、各自が思い思いの絵を描いた「手作りうちわ」を使って、クイズに参加しました。出演した子どもたちは、台詞や歌とダンスをとおして、また、観客はエコクイズに身を乗り出して参加したことで、地球環境のために何をしたら良いか、身体と心に刻むことができたのではないのでしょうか。（林）



★ エコミュージカルの様子 ★

■「4つのエコイベント」

6月26日、三鷹市公会堂にて「エコミュージカルとエコイベント」が開催されました。

エコミュージカルの上演に先立ち、ロビーでは4つのエコイベントとして、「おもちゃの病院」、「エコワークショップ（お子さんたちのうちわ作り）」、「みたかの花と緑を紹介（花壇ボランティア、緑のボランティアの活動紹介など）」、「ゴーヤの苗をプレゼント」が行われました。



★エコワークショップに取り組む子どもたち★

会場には、多くの園児や小学生が集まり、ご家族で楽しみながら環境を守ることの大切さを学んでいただけたと思います。

子どもたちが環境を意識して大きくなり、成人を迎えることによって、三鷹はより住みよい街になります。

日々の生活を振り返ってみましょう。折りたためる袋を持ち歩くことで、お出かけ帰りに買い物をしようと思った際に、エコバッグとして使えます。また、これから夏を迎え、暑い日が多くなります。家の窓を開け、家中に外気が回るようにすればだいぶ涼しくなります。

ちょっとした心遣いで気持ちの良い暮らしができます。環境を守るためにできることから行動しましょう。（森 ㊦）

ヤゴ救出大作戦

5月末ごろ三鷹市の小学校ではプールの清掃前の「ヤゴ救出大作戦」が行われました。ヤゴとはトンボの幼虫を指す通称です。そして肉食性の水生昆虫として有名です。ある小学校のプールでは、およそ800匹のヤゴが子どもたちの力により捕獲されたそうです。私の想像していた数よりもずっと多かったのも、とても驚きました。

子どもたちには、ヤゴをトンボになるまで飼育することで、命の大切さはもとより、環境についても関心を持ってもらえるよい機会です。

三鷹市には野川公園や仙川公園、大沢ほとるの里などがあり、井の頭公園には大きな池もあります。都市部ではめずらしく水辺に恵まれた環境といえます。各水辺には多くの野鳥・野草、水辺の昆虫などを観察することができます。

夏休みには親子で水辺に出かけてみてはいかがでしょうか。そして未来の子どもたちに綺麗な水の環境が残せていけるように関心を持っていただけたらと思います。（森 ㊦）



花と緑の広場のイベント

5月21日（土）花と緑の広場（牟礼一丁目11番26号）で、花畑の種まき、草花チャリティバザー、親子花苗植え付けイベントが行われました。花畑の種まきは、コスモス、ジニア、キバナコスモスの種をまきました。秋には色とりどりの花が咲き、秋風と共に花にひきよせられる広場になります。草花チャリティバザーでは、111種類の草花を寄付していただき、苗は1つ100円で販売し、収益は「3.11ガーデンチャリティー（東日本大震災緑の復興支援）」に寄付されます。こちらは、大人に人気で家にはない苗を買っていかれたり、同じ種類でも花の色のちがうものだったり、花びらのちがうものだったりといろいろあるので1人で何種類も買ってくださる方もいらっしゃいました。植え付けイベントは、親子で参加していただき、花壇ボランティアの人がレクチャーしてから親子で植え付けをしました。小さな手で教わったように植えて、1つ植えるとうれしくて、もう1つ植えているお子さんもいました。

後日、この広場に遊びにきたときには、自分の植えた花が気になり、私達に教えてくれるお子さんもいます。植えたことのうれしさが忘れられないのでしょうか。

イベント終了後は、ポピー、矢車草の花つみをして花束を抱えて家に帰られました。三鷹で種をまいてつみとり、花束にして持ち帰るといって、嬉しい体験ができるこの広場をみんなに知っていただき、これからも大切にしていきたいと思います。（大平）



★イベントの様子（提供：花と緑のまち三鷹創造協会）★

環境掲示板

「エコ布ぞうり作り」

主催：三鷹市
日時：平成28年7月21日(木曜日)
午後1時～3時30分
場所：三鷹市リサイクル市民工房
対象：どなたでも
定員：10人(申込多数の場合は抽選)
料金：無料
申込：7月13日(水曜日)必着で、
往復はがきでごみ対策課ま
で申し込む
問合せ：ごみ対策課(内線2536)

「リングワーク作り」

主催：三鷹市
日時：平成28年7月27日(水曜日)
午後1時～3時30分
場所：三鷹市リサイクル市民工房
対象：どなたでも
定員：12人(申込多数の場合は抽選)
料金：無料
申込：7月19日(火曜日)必着で、
往復はがきでごみ対策課ま
で申し込む
問合せ：ごみ対策課(内線2536)

編集後記

このたびの九州地方の震災により被害を受けられた皆様には、お見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

さて、今年も環境月間イベントとして、環境標語表彰式及びエコミュージカルが開催され「エコ??の国のありす」が上演された。今回は公募した一般市民のお子さんも出演し、元気な姿でダンスを演じ、エコについて学んだ。ロビーではゴーヤの苗を配付し、緑のカーテンによる省エネを呼びかけるなど、4つのエコイベントを行った。来場者、出演者、スタッフ、皆が環境について考えるイベントとなった。（平澤）

次回の発行は平成28年10月の予定です。

発行：みたか環境活動推進会議
（愛称 みんなの環境）

連絡先：三鷹市生活環境部環境政策課
電話 0422-45-1151 内線2523・2524
E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp
本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。